

図書館だより 11月

ワシントン日本語学校図書館 (tosho@wils.org) 令和4年 11月号
開館時間 9時～4時

11月は読書月間！

読んで集めて読書スタンプラリー&おすすめ本を紹介しよう！

毎年10月27日から11月9日の文化の日を挟んだ2週間は全国読書週間です。第76回読書週間の標語は「この一冊に、ありがとう」。「読書で心が震える体験は、何物にも代え難い奇跡。自分の未来にはそんな奇跡がまだまだたくさん待っている。本に関わっているすべての人に感謝を伝えたい。」という思いが込められています。ワシントン日本語学校では、11月を校内読書月間とし「スタンプラリー&おすすめ本をしよう！」を開催します。期間中、本を1回借りるごとに1つスタンプを押します。(1日1回まで) そしておすすめ本の紹介をしてくれた生徒には特製しおりをプレゼントします。
普段なかなか読書をする時間がない人も、秋の深まりとともに読書を楽しんでみませんか。

〈生徒〉

- ・一人一冊オンライン予約ができます。
- ・予約の受け取りは放課後です。
カウンターで受け取り、貸出の手続きを
してもらいます。
- ・中・高校生はIDカードを忘れずに！

全面開館
いたします

開館時間 9時～4時
(入館は15時45分まで)
貸出 1人3冊まで
貸出期間 2週間

〈保護者〉

- ・利用可能時間 9時～11時
15時15分～4時
- ・IDカードをお持ちください。
- ・放課後は混み合いますので、
なるべく午前中にお越しください。

〈返却〉

- ・図書館入口前にある返却カートに
置いてください。(午前中のみ)

イベントのご案内

スタンプラリー

- ・読書月間中、本を借りてスタンプを集めよう！
- ・2つそろると貸出1冊プラス券をプレゼントします

おすすめ本を紹介しよう！

- ・おもしろい、泣けた、心に残った言葉や場面の
絵を書いて、みんなに紹介してみよう！
- ・紹介してくれた人には、特製しおりをプレゼント！

人気シリーズ貸出についてのご案内

「かいけつゾロリ」「サバイバル・タイムワープ」「発明/実験対決」「漫画」については、学年関係なく生徒それぞれ1人1冊まで借りることができます。放課後、対象の本が棚に残っている場合、保護者の方にも貸出できます。限られた本をより多くの生徒に利用してもらいたい為、皆様のご協力をお願いいたします。



など

「ぐりとぐら」シリーズをはじめ、「いやいやえん」「そらいろのたね」などの絵で知られる画家で絵本作家の山脇百合子さんがお亡くなりになりました。いつも優しく、楽しい、素敵な作品を子どもたちに届けてくださいました。きっと多くの大人の方の胸にも、今でもあたたかな思い出とともにあり続けているのではないのでしょうか。今月は山脇さんの作品を集めました。ぜひ、手に取ってみてください。

山脇百合子さんの本



おひさまおねがいチチンパイ

みつばちになりたい子、パンダに会いたい子、さあ、みんな、このゆびとーまれ！ チチンパイ！ のおまじないを唱えたら、変身！ 子どもの夢と心を育てる楽しい遊びの絵本です。



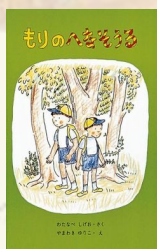
大雪が降る夜。ねずみのおいしやさまが寝ていると、リスさんから電話がかかってきました。「ぼうやがかぜをひいて、ねつをだしていますから、すぐきてください」。奥さんに心配されながら、ねずみのおいしやさまはスクーターに乗って出かけていきます。しばらく行くと、スクーターが雪で動かなくなってしまいます。困ったおいしやさまは……。そそっかしくて、のんきなねずみのおいしやさまのお話です。

ねずみのおいしやさま



かえるのエルタ

かんだの拾ったおもちゃのカエル・エルタは、雨をあびると本当のかえるカエルになって、カエルのお城のある「うたえみどりのしま」へ行こうとかんだを誘います。途中、虹の橋から落ちてしまったエルタとかんだは離ればなれに……。らいおんみどりやカエルのおひめさまのドレミに出会ってお城に着くと、ベッドで寝ているエルタに再会できました。けんかばかりしているエルタとドレミですが、本当は……。



もりのへなそうる

てつたくん、みつやくんの兄弟は、画用紙に地図をかき、お弁当を持って探検にでかけます。森の中であつたものを探していると、大きな赤と黄色の縞模様の卵を見つけました。それは、食いしん坊で臆病、でもとても優しい変な怪獣「へなそうる」の卵でした。ふたりは、へなそうると出会って、かくれんぼをしたり、おたまじゃくしをとったりして時のたつのも忘れて遊びます。楽しい挿し絵がいっぱいです。

「青春」編

君に贈る本大賞 キミ本大賞

最も読んでほしい「青春」本は？
全国の中学、高校の先生たちが生徒に薦めたい本を選ぶ「君に贈る本大賞」（読売中高生新聞主催）。今年発表された第8回受賞作品を紹介します。

1 夜のピクニック 恩田陸

高校生活最後を飾るイベント「歩行祭」。それは全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという、北高の伝統行事だった。甲田貴子は密かな誓いを胸に抱いて、歩行祭にのぞんだ。三年間、誰にも言えなかった秘密を清算するために……。学校生活の思い出や卒業後の夢など語らいつつ、親友たちと歩きながらも、貴子だけは、小さな賭けに胸を焦がしていた。本屋大賞を受賞した永遠の青春小説。



2 風が強く吹いている 三浦しをん

箱根駅伝を走りたい——そんな灰二の想いが、天才ランナー走と出会って動き出す。「駅伝」って何？ 走るってどういうことなんだ？ 十人の個性あふれるメンバーが、長距離を走ること(=生きること)に夢中で突き進む。自分の限界に挑戦し、ゴールを目指して襷を繋ぐことで、仲間と繋がっていく……。風を感じて、走れ！ 「速く」ではなく「強く」——純度100パーセントの疾走青春小説。



4 あと少し、もう少し 瀬尾まいこ

5 バッテリー あさのあつこ きみの臍臓を食べたい 住野よる

7 桐島、部活やめるってよ 朝井リョウ 赤毛のアンシリーズ モンゴメリ



3 一瞬の風になれシリーズ 佐藤多佳子

春野台高校陸上部、1年、神谷新二。スポーツ・テストで感じたあの疾走感……ただ、走りたい。天才的なスプリンター、幼なじみの連と入ったこの部活。すげえ走り俺にもいつか。デビュー戦はもうすぐだ。「おまえらが競うようになったら、ウチはすげえチームになるよ」。青春陸上小説、第一部、スタート！